

県立病院ではたらく仲間をつなぐ

2024. 1. 17

病院組合ニュース

No.166

愛知県病院事業庁職員組合

〒460-0001 名古屋市中区三の丸3-2-1

愛知県東大手庁舎内

電話(052)212-8031 FAX(フリアクス)0120-930-340

メールアドレス byoin@aichikenshoku.gr.jp

発行責任者 亀井祐介

日本母親大会in山口 レポート②

2023年11月25日（土）に山口県で開催された日本母親大会に参加した組合員さんのレポート第2弾をお届けします！

添って」に参加して



現在、児童思春期病棟で勤務しているため、現役で中学校教員を務めている方の話を聞くことができ、私自身が働いていて感じるものと、実際の学校という現場で感じていることの違いや共感できる部分を聞くことができた。

今回の分科会では、現在の指導要領や教科書への問題提起、教員の意識の変化というものが語られることが多かった。教員も所謂企業のような接遇を徹底した対応を余儀なくされているため、保護者や児童・生徒への対応の困難さや教育現場の窮屈さを感じた。また、「点数が取れる（良い高校・大学へ行くため

当病棟に入院する患児の大半は不登校の児であり、その原因は障害特性や家庭環境から他の児童・生徒に馴染めなかったり担任含め教員との関係性が悪かったりといった問題を持つことが多い。義務教育中は特に学校との連携が必要不可欠だと感じているが、学校側の対応はその所によって異なるため、上手く連携できない事例も存在している。

「子どもの心に寄り添う」ということを改めて考えると、教員という立場でも、私のような看護師（普段は地域に住む大人）であっても難しいことだと感じている。子どもの気持ちを十分に理解できるかといえ、ルールや今までの経験値等が頭にある大人にはできないことの方が多いように思う。分科会中では、民主主義を実感する教育・経験の必要性や、申し合わせで、

の教育）」「即戦力になるために必要なことだけを教育する」と言っただけの学習形態についても、私自身が学んできた義務教育との違いを感じると共に、教員側の今の指導体制に不満を抱いている方も一定数いることを知ることができた。



母親大会に参加して



去る11月25日秋晴れで木々が赤く染まりつつある中、山口県で開催された第68回母親大会に参加する機会をいただきました。今回、ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルのガザ地区完全封鎖による空爆と地上戦が

「同じ思いを持つ人たちで声をあげ、小さい穴を開け、生きづらいつ社会を変えていきましよう」と言った文言があつたが、私たち大人は子どもたちが必要な時に適切な声を上げられるような教育や、大人が代弁者になるのではなく、成功も失敗も見守つていくような姿勢が必要なのではないかと感じました。

今回分科会のテーマ「子どものもんだい・教育のもんだい」子どもたちに笑顔と希望をこどもの心によりそつて」では子どものいきづらさについての活発な意見交換が行われました。現役大阪公立中学校教諭であり教員養成課程をもつ大学で教鞭もとっている平井美津子氏の講演に参加しました。（裏面へ）

激化している中、「社会的弱者である子供や貧困女性を守り核兵器のない平和な明るい未来」という課題があげられました。日本国内においても実質賃金が上がらない中で年金の引き下げ、さらには物価高騰と私たちを取り巻く環境も厳しくなっていることはみなさんも実感されていると思います。それが伴い子供の貧困も深刻さを増しています。

平井先生は子どもにも自分がもっている権利を教え、生きていく権利・人権についても学ばせる大切さを説いていました。

精神医療センターでは児童病棟・児童デイケアもあり精神疾患はもとより、発達障害、自傷・他害行為で生きづらさを抱えている子どもたちを多く見ます。私も医療者の立場ももちろんの事、社会生活をおくる大人の一人として子どもと並走し、皆が一人で生きていくよう導くのが大人の義務であることを感じた次第です。出席者の中には、自分の子供が不登校であるという当事者からの意見も聞かれると同時に学校関係者からも、現在はスクールカウンセラーが少ないためにチームで児童を教育指導することができないというも

どかしい思いを抱えている現場職員の声も聞かれました。

特に10年前と比較すると、問題内容も不登校に加え低年齢化している薬物過剰摂取、自傷、大人が管理しづらいSNSからの性犯罪被害など深刻さも増しています。これらはスマートフォンでの普及とともに浮き彫りになってきた問題であり、私たちもどうしたら子供を守るのかノウハウや経験が不足していると認めざる得ない現状です。今回の母親大会では現状報告と追い付いていない法整備や人手不足などについても議論が交わされ、これらが今後絵にかいた餅にならないようにしていくことが私たちの使命でもあると想いを新たにしました。

「安心できる子ども

の居場所・親にも本音で話せる場所を・子どもの心によりそった学校にするための先生たちとの話し合い・同じおmoiを持つ人たちと生きづらい社会をかえていく」この4つを指針としていくことで今回の母親大会を終えました。

(参加者Dさん・精神)



規約改正のための全員投票結果

組合員総数	1,097	人
投票者数	904	人
有効投票数	900	票
賛成投票数	894	票
反対投票数	6	票
無効投票数	4	票

よって規約改正となりました。

役員紹介 ③



★執行委員(政策部長) 神 晴美

(精神医療センター・看護師)

組合員の声を聞き、1人でも多くの意見が届くように組合員のために頑張ります。



★執行委員(政策部長) 水谷雅樹

(病院事業庁・事務)

一杯頑張ります！

よろしくお願ひします！

病院組合交流会

のお知らせ

とってもお得!!

劇団四季

ミュージカル



CATS &

ランチコース

日時 3月1日(金) 11時30分~

会場 名古屋四季劇場

LAZOR GARDEN DINING

★詳しくは職場に配布のチラシをご覧ください。

前回、女性部交流会で大好評だった「CATS鑑賞会&ランチコース」今回は病院組合交流会として開催します！賛助会員・組合員の方ならどなたでもご応募可能です。美味しいランチを食べて40周年を迎えた劇団四季のミュージカル「CATS」を見にいきませんか？